

開催日	平成24年5月15日(火)15:00～16:30
参加機関・担当者	別紙の出欠表を参照。
主な議題	<p>あいさつ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、自己紹介(代表者) 2、平成24年南区地域自立支援協議会活動方針について 3、質疑応答 4、連絡事項 5、その他 <p>まとめ</p>
会議記録	<p>あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南区福祉保健センター センター長 海原 逸子氏 ・地域活動ホームどんとこい・みなみ 所長 中根 幹夫氏 <p>上記2名より冒頭のあいさつをしている。</p> <p>1、自己紹介 当日参加している、代表者のみ自己紹介を実施。</p> <p>2、平成24年南区地域自立支援協議会活動方針について 別紙の資料に沿って、事務局の各担当より活動方針について説明を実施。</p> <p>3、質疑応答</p> <p>Q、資料の構成メンバー(代表者)にグループホームが入っていないが、グループホームの代表者をどうしていくのか？また、福祉には医療は欠かせないが、医師会などへの働きかけはどうしていくつもりなのか？さらに、以前は民間の事業所も入っていたが自立支援協議会になってからは入っていない。障害児者の支援をしているのであれば、こういった場に参加してもらうべきでは？</p> <p>A、構成メンバーについては、事務局でも話題になっており、検討課題の一つとなっている。作業所は作業所連絡会代表としていたのだが、今年から代表はむつみさんと固定になったこともありみなさんの意見をいただきながら構成メンバーを検討していきたいと考えております。現在、医療機関としてはこども医療、市大センター病院に参加をいただいているがそれぞれ、重心施設や地域連携室といった部署であり、医療からの参加については今後も継続して検討していく必要があるものと考えています。また、定期連絡会の構成としては定義として「南区の障害児者支援に関わる支援者」としているの、民間だから社会福祉法人やNPOだからといった峻別はしない事になります。しかしながら、自立支援協議会として十分に機能していない中では、参加機関にとっても役割や位置づけが曖昧になってしまう事も考えられるので、もう少し活動が活発になってから検討していきたいと思えます。</p> <p>Q、個別支援会議開催支援についてはどのようなイメージをもっていますか？</p> <p>A、事務局活動の部分で触れたように、各所に訪問をしていく中で、即個別支援会議につながることもあれば、基礎的な部分を共に学んでいくところからはじめるなど、各事業所の状況や要望に合わせて実施していく予定です。</p> <p>Q、南区にある区障連、区作連、地域福祉保健計画などとの関係をどう考えるか？情報を共有化する場を持ってほしい。</p> <p>A、事務局としても課題であると認識しておりますが、自立支援協議会独自でさまざまな会議を開催し進めていくことは考えていません。ただ、現時点では、南海として横断的に参加しているので同じ内容で別の会議を設定することはしないようにしていく程度でしか活動できていません。また、事務局としては個別の支援の充実を図るための取組を行っていくつもりですので、当面はその部分特化した形で活動していくつもりです。</p> <p>Q、各事業所の要請があつてからではなく、事務局から訪問を積極的にしてほしい。年に2回は来てほしいと思うのですが？</p>

A、活動方針には明記しておりませんが、6月から訪問を計画しております。まずは、お話を伺い必要に応じて訪問や話し合う場の設定を随時行っていく予定です。

Q、個別支援会議開催支援については、具体的な取り組みを共有化して欲しい。

A、ホームページや訪問時などに情報の共有化を図っていく予定です。

※発達障害者支援センターより

初めての参加なので、今後どう関わっていくかについてみなさんと考えていけたらと思います。

4、連絡事項

事務局より、スキルアップ研修の受け入れ機関募集について説明。また、南区後見的支援制度より「サポート南海」という通称の告知と、事業説明を実施。

5、その他

事務局より7月の進路懇談会の取組について説明。合わせて学校関係者に協力依頼をしている。

まとめ

事務局長である、地域活動ホームどんとこい・みなみ副所長 倉品 和文より、挨拶をしている。

今後の課題